

5 R-6

スケジュール情報により適応転送する 電子メールシステム

加藤 誠巳 寺山 武志
(上智大学理工学部)

1 まえがき

近時、電子メールはインターネットの情報伝達手段として広く普及してきた。その背景としては、電子メールはユーザの希望に応じて、送受信を行えることが考えられる。しかし、常に電子メールを受信できる環境にいることは困難で、情報伝達に遅れを伴うことが多い。

そこで、ユーザのスケジュールに応じて電子メールの情報を他の情報伝達手段を用いて転送するシステムをについて検討を行った結果について御報告する。

2 電子メールの特徴と問題点

電子メールの特徴として、第一に送受信の文字情報は電子情報であるので、加工・再利用が容易であることが挙げられる。また、MIMEにより、文字情報以外にも様々なデータの送受信が可能となっている。

第二に、電子メールは電話のようなリアルタイムの通信手段ではないので、相手が不在の時でも情報発信ができ、好きなときに取り出して読むことができる。しかし、このことは、電子メールに即時性がなく、緊急の場合や期限付きの情報等には対応できないことを示唆している。

3 本システムの目的

本システムは、個人のスケジュール情報に応じて適応的に電子メールの内容を FAX、漢字ポケベル、携帯電話等の手段により、代替伝達することを目的としている。

4 本システムの構成および機能概要

本システムは UNIX マシンをメールサーバとし、実際の転送を行う部分は POP クライアントである Windows95 マシンを想定している。(図1)

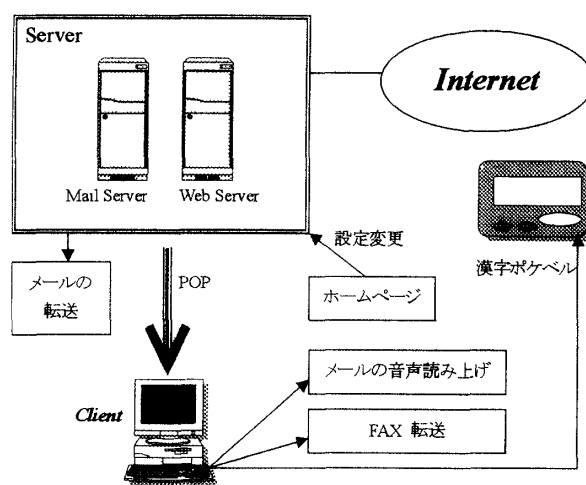


図1 本システムの概念図

図1の各マシンの役割を説明する。

● Web Server

スケジュール関連情報を修正・変更・追加するホームページを有し、ホームページ上で、転送条件を設定できる。ここで追加変更された情報は Server 内の情報を有するファイルに反映される。

● Mail Server

SMTP/POP サーバ。Client に POP するとき Server の持つ追加情報を参照し、電子メールの末尾に付加情報を加え、Client に情報を伝達する。

● Client

POP サーバから電子メールを受け取り、この Client が持つスケジュール情報と、サーバが付け加えた情報をもとにして、各種転送を行う。

4.1 設定手段

基本的な設定はクライアント側で持つことになる。近時、ホームページは様々な場所から容易にアクセスできるようになっているので、出先からも WWW を通して設定の変更を行える様にした。(図 2)

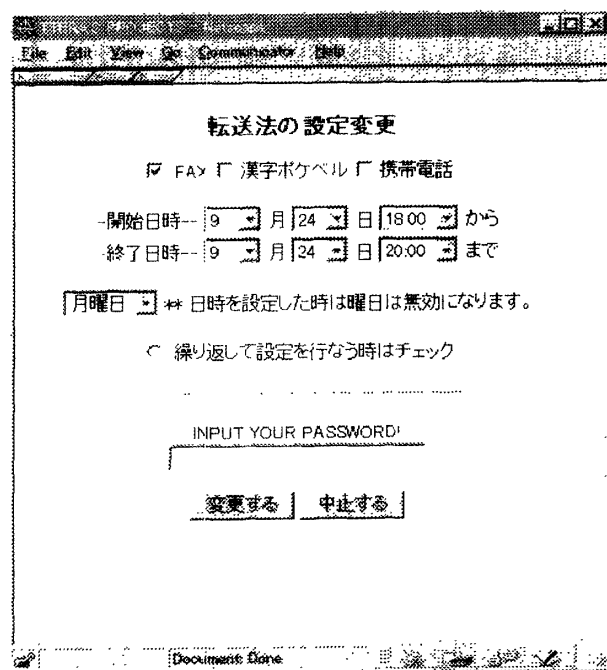


図 2 WWW 上での設定画面

4.2 電子メールの加工

現段階では、メールの本文中に“###\$%”の文字列があった場合、その文字列の後ろの部分サーバの追加した情報と見なして、Client の処理に反映させている。(図 3, 4)

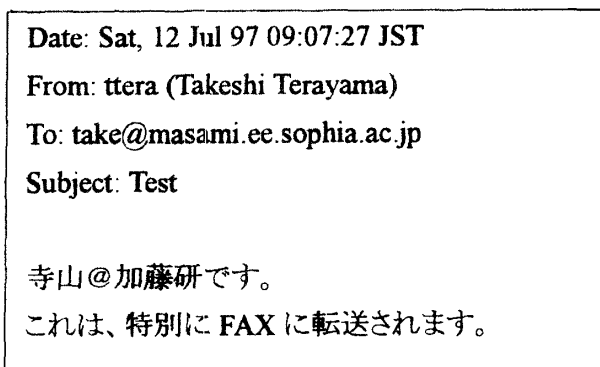


図 3 加工前のメール

Date: Sat, 12 Jul 97 09:07:27 JST

From: ttera (Takeshi Terayama)

To: take@masami.ee.sophia.ac.jp

Subject: Test

寺山@加藤研です。

これは、特別に FAX に転送されます。

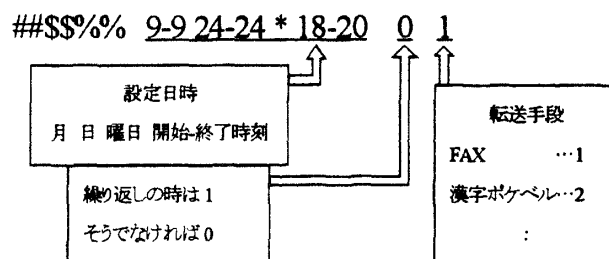
###\$% 9-9 24-24 * 18-20 0 1

図 4 加工されたメール

図 4 に於ける処理後のメールの設定情報は上の様なフォーマットになっている。設定日時で繰り返しを用いる場合は“###\$% * * 3 20-24 1 2”の様になり、毎週水曜(月曜を 1 に対応)の 20-24 時に漢字ポケベルに転送されることになる。

5 むすび

本稿ではスケジュール情報により適応転送する



電子メールシステムのサーバ部分について述べた。今後は、各手段に関して検討を行い、本システムを実用に向けて改善していく予定である。

最後に、有益な御討論を戴いた本学マルチメディア・ラボの諸氏に謝意を表する。

参考文献

- [1] Bryan Costales, Eric Allman, Neil Rickert 共著 村井 純 監訳: "sendmail 解説", オーム社 (1994).
- [2] 加藤、毛利、寺山“電子メールの漢字ポケベルへの自動加工転送システム”, 第 54 回情処全大, 4M-02(1997-03).